

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2015-02 “愛称 ぜんぞう1502”」は、去る12月10日に第1期の決算を行いました。本ファンドは日本を含む世界の株式および債券に広く分散投資を行うことで、インカムゲインの獲得と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行っております。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、法令に基づいて運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

あおぞら・新グローバル分散ファンド （限定追加型）2015-02

愛称 **ぜんぞう** 1502

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第1期

決算日
第1期 2015年12月10日
作成対象期間（2015年2月27日～2015年12月10日）

第1期末（2015年12月10日）

基準価額	9,744円
純資産総額	2,714百万円

第1期 （2015年2月27日～2015年12月10日）

騰落率	△2.6%
分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。



あおぞら投信株式会社

東京都千代田区九段南1-3-1

■ホームページアドレス

<http://www.aozora-im.co.jp/>

■お問い合わせ先

<お問い合わせ窓口>

03-4520-3401

受付時間：

営業日の午前9時から
午後5時まで

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

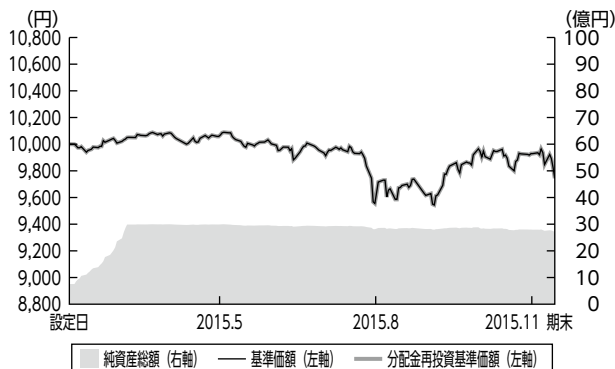
○本ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。また、運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド一覧」より該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書（全体版）一覧」を選択

運用経過（2015年2月27日～2015年12月10日）

基準価額の推移



第1期首：10,000円

第1期末：9,744円（既払分配金0円）

騰落率：△2.6%（分配金再投資ベース）

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、当期末において9,744円となり、2015年2月27日設定来のリターンは2.6%（信託報酬控除後）の下落となりました。米国を除く世界的な金融緩和基調から先進国債券市場が上昇し、日米金融政策の方向性の違いからドル円為替レートで円安が進んだことが基準価額の上昇要因になる一方で、年央にかけて世界的な株高を受けて順調に基準価額が値上りしていたものの、本ファンドの株式組入比率が段階的に高まった本年8月以降に株式市場が世界的に調整したことがマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細（2015年2月27日～2015年12月10日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	84	0.849	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,919円です。
(投信会社)	(40)	(0.403)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(42)	(0.425)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.021)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	15	0.149	(b) その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$
(監査費用)	(3)	(0.027)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(12)	(0.122)	法定書類の作成・印刷・届出および交付に係る費用ならびにファンドの計理業務およびこれらに付随する業務に係る費用
合計	99	0.998	

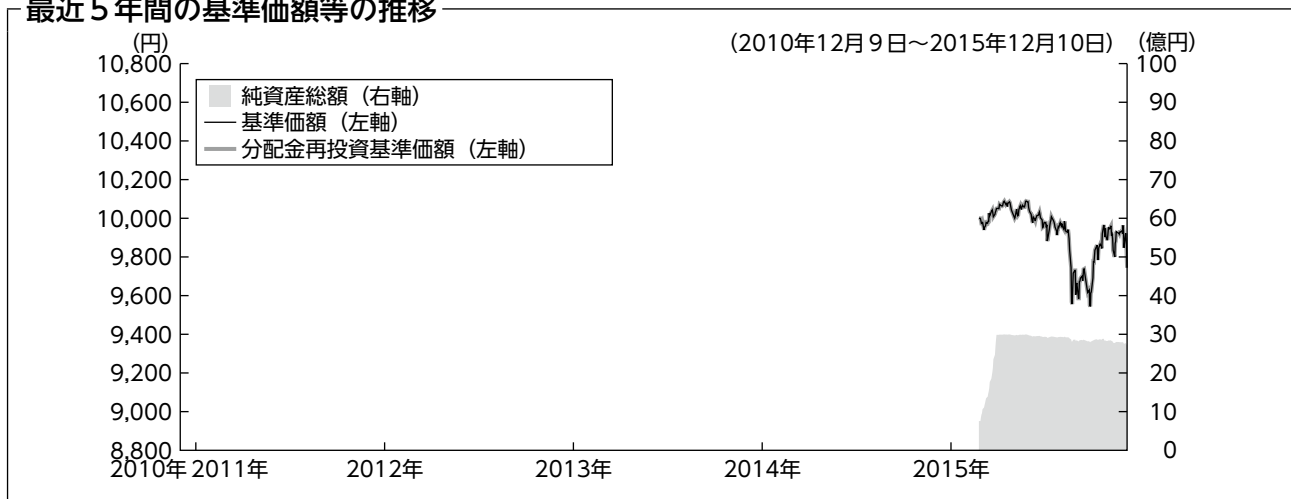
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2015年2月27日 (設定日)	2015年12月10日 (決算日)
基準価額	(円)	10,000	9,744
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△2.6
純資産総額	(百万円)	754	2,714

(注1) 2015年12月10日の「分配金再投資基準価額騰落率」は、2015年2月27日からの騰落率で、年間騰落率とは異なります。

(注2) 本ファンドは複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。本ファンドは、株式の実質的な組入比率を計画的に段階的に引き上げる(漸増)ことで買付時期の分散を図り、また、基準価額が一定水準以上となった場合には、一定期間内で株式の実質的な組入比率を引き下げ、債券ならびに短期金融商品等に投資する安定運用に切り替えていくことを基本方針としています。このため、本ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境

当期の先進国株式は下落しました。2015年2月27日の本ファンド設定日から年央にかけて、ECB（欧州中央銀行）の追加金融緩和など、世界的に金融緩和的な環境から上昇基調になりましたが、FRB（米連邦準備制度理事会）の利上げ開始時期に対する不透明感から次第に新興国市場が軟調となり、本年8月には中国人民元の切り下げをきっかけに中国景気の減速懸念が台頭したことを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、世界同時株安となりました。しかし、本年10月になると、中国人民銀行（中央銀行）が追加金融緩和を実施したことやECBが年内追加緩和を示唆したことなどから大きく反発しました。

新興国株式は、資源価格の下落基調に加えて、米国利上げに伴う新興国から米国への資金逃避に対する警戒感から、本年4月を境に下落基調になりました。本年8月に中国景気の減速懸念を嫌気して下落が加速したあと、中国人民銀行が追加金融緩和を実施したことで反発しましたが、上昇幅は限定的でした。

先進国債券は、原油相場の急落やECBの追加金融緩和を受けて、2015年2月27日の本ファンド設定日から債券利回りの低下基調（債券価格は上昇）が続いたあと、本年5月にユーロ圏経済のデフレ懸念後退をきっかけに、過去最低水準を更新していたドイツ国債を始めとして利回りが上昇（債券価格は下落）に転じました。その後、夏場に投資家のリスク回避姿勢が強まると、FRBの利上げ先送りやECBの年内追加緩和期待から債券利回りは再び低下基調（債券価格は上昇）になりましたが、当期末にかけては、FRBの年内利上げ観測が高まったことから、利回りは上昇（債券価格は下落）しました。

為替市場では、夏場に世界同時株安になるなど、投資家のリスク回避行動の強まりから一時的にドル円為替レートで円買いが優勢となる局面もありましたが、当期末にかけては日米金融政策の方向性の違いから円安が進みました。

当該投資信託のポートフォリオ

本ファンドでは当初の運用方針通り、3つの組入れファンド（先進国株式：ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド、新興国株式：同エマージング・マーケット・バリュウ・ファンド、先進国債券：同グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド）への投資を通じて日本を含む世界の株式（新興国の株式を含みます。）および債券に広く分散投資を行うことで、インカムゲインの獲得と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。

2015年2月27日設定時の債券と株式の組入比率を先進国債券95%：グローバル株式5%（内訳は先進国株式4%：新興国株式1%）でスタートした後、株式への投資比率を漸増させる“ぜんぞう”プランに従って、毎月初にグローバル株式の組入比率を計画的かつ段階的に引き上げました。その結果、当期末における目標組入比率は、概ね先進国債券50%：グローバル株式50%（先進国株式：新興国株式の比率は5：1）となっています。

組入れファンドにおける当期の運用状況は以下の通りです。

<ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド>

投資対象銘柄において、3つの側面（＝ディメンション、相対株価が低いこと、時価総額が下位であること、収益力が高いこと）に対する傾斜度合いを相対的に高めながら、広範に分散投資することによって、期待リターンの上を目指しました。2015年11月末時点で、先進23カ国の6,069銘柄に分散投資しています。

<ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー エマージング・マーケット・バリュー・ファンド>

投資対象銘柄において、3つの側面（＝ディメンション、相対株価が低いこと、時価総額が下位であること、収益力が高いこと）に対する傾斜度合いを相対的に高めながら、広範に分散投資することによって、期待リターンの向上を目指しました。2015年11月末時点で、新興19カ国の1,894銘柄に分散投資しています。

<ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド>

投資対象銘柄において、2つの側面（＝ディメンション、期間プレミアム、クレジット・プレミアム）に着目しながら、期待リターンの最大化を目指しました。2015年11月末時点で、先進15カ国の99銘柄に為替をヘッジした上で分散投資しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異

本ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金（1万口当たり、税引前）

本ファンドの運用の基本方針において、「本ファンドは中長期的な信託財産の成長に資するため、収益分配金は少額に抑えることを基本方針とします。」としています。この基本方針に従い、当期は無分配といたしました。

留保益の運用については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（1万口当たり、税引前）

	第1期	
	自 2015年2月27日	至 2015年12月10日
当期分配金		－円
（対基準価額比率）		－%
当期の収益		－
当期の収益以外		－
翌期繰越分配対象額		69

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

株式比率を段階的に引き上げる“ぜんぞう”プランに従って、2016年2月初にかけて、組入比率が概ね先進国債券40%：グローバル株式60%（内訳は先進国株式50%：新興国株式10%程度）となるまで組入比率を引き上げます。

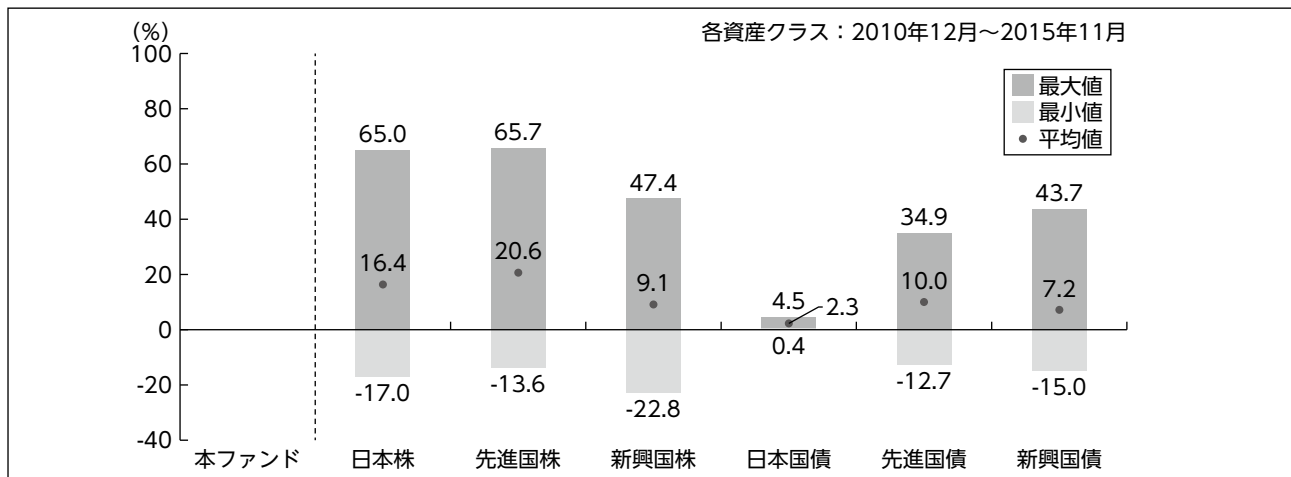
お知らせ

該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2019年12月10日まで
運用方針	日本を含む世界の株式および債券に広く分散投資を行うことで、インカムゲインの獲得と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・アイルランド籍外国投資証券（円建て） ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド ・アイルランド籍外国投資証券（円建て） ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー エマージング・マーケット・バリュー・ファンド ・アイルランド籍外国投資証券（円建て） ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド
運用方法	<p>①主として、日本を含む世界の株式（新興国の株式を含みます。）（以下「グローバル株式」といいます。）を主要投資対象とする別に定める投資信託証券および日本を含む世界の債券（以下「グローバル債券」といいます。）を主要投資対象とする別に定める投資信託証券に投資を行います。</p> <p>②株式の実質的な組入比率を計画的に段階的に引上げることで、買付時期の分散を図ります。</p> <p>③投資信託証券の組入比率は原則として高位を保ちます。なお、投資対象資産毎の投資信託証券への配分比率は下記の通りとすることを基本とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル株式を投資対象とする投資信託証券への配分比率の合計：設定当初は純資産総額の概ね5%程度から開始し、1年後に純資産総額の概ね60%程度とします。 ・グローバル債券を投資対象とする投資信託証券への配分比率の合計：設定当初は純資産総額の概ね95%程度から開始し、1年後に純資産総額の概ね40%程度とします。 <p>ただし、基準価額（支払済の分配金（税引前）累計額は加算しません。）が一定水準（11,500円）以上となった場合には、資金動向、市況動向等を勘案した一定期間内でグローバル株式を投資対象とする投資信託証券への配分比率を引き下げ、グローバル債券を投資対象とする投資信託証券ならびに短期金融商品等に投資する安定運用に切り替えていくことを基本とします。</p>
分配方針	分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は分配を行わない場合があります。なお、中長期的な信託財産の成長に資するため、収益分配金は少額に抑えることを基本とします。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2010年12月～2015年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、本ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドは2015年2月27日に設定されたため、本書作成日現在、年間騰落率を表示することができません。

※上記は、本ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。

<代表的な各資産クラスの指数>

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株 … MSCI-KOKUSA1 インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株 … MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債 … NOMURA-BPI 国債

先進国債 … シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債 … J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

※東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

※MSCI-KOKUSA1 インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債、円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の指標が日々公表されています。なお、NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

※シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

※J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当該投資信託のデータ

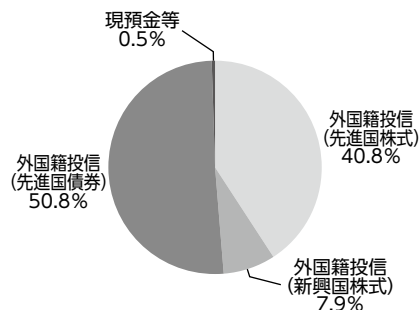
当該投資信託の組入資産の内容（2015年12月10日現在）

○組入ファンド（3銘柄）

	組入比率
ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド	40.8%
ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー エマージング・マーケット・バリュウ・ファンド	7.9%
ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド	50.8%
その他	0.5%

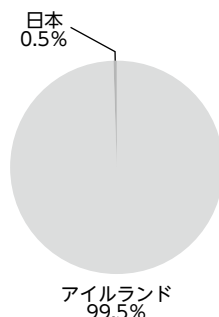
※組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分

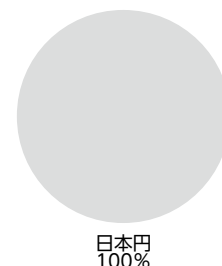


※比率は純資産総額に対する割合です。

○国別配分



○通貨別配分



○純資産等

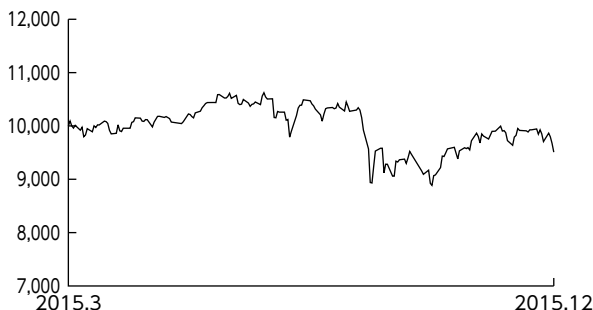
項目	当期末
	2015年12月10日
純資産総額	2,714,344,849円
受益権総口数	2,785,721,499口
1万口当たり基準価額	9,744円

※当期中における追加設定元本額は2,215,286,643円、同解約元本額は184,274,969円です。

組入上位ファンド(銘柄)の概要

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド

基準価額の推移(2015年3月2日～2015年12月10日)



(注) 当該ファンドの当初組入れ時(2015年3月2日)を10,000として指数化しております。

○上位10銘柄

銘柄名	国名	業種名	組入比率
1 アップル	アメリカ	情報技術	1.6%
2 エクソンモービル	アメリカ	エネルギー	1.2%
3 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	0.8%
4 AT&T	アメリカ	電気通信サービス	0.7%
5 ジョンソン・エンド・ジョンソン	アメリカ	ヘルスケア	0.6%
6 ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	金融	0.6%
7 パークシャー・ハサウェイ	アメリカ	金融	0.6%
8 インテル	アメリカ	情報技術	0.5%
9 ベライゾン・コミュニケーションズ	アメリカ	電気通信サービス	0.5%
10 ネスレ	スイス	生活必需品	0.5%
組入銘柄数		5,572銘柄	

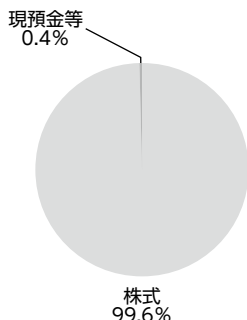
(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

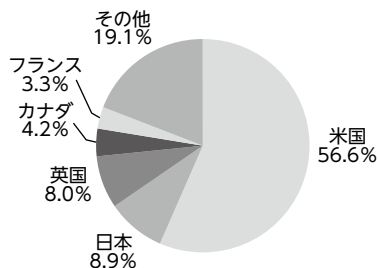
○1万口当たりの費用明細

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンドのAnnual Reportには、1万口当たりの費用の明細が開示がされていないため、記載できません。

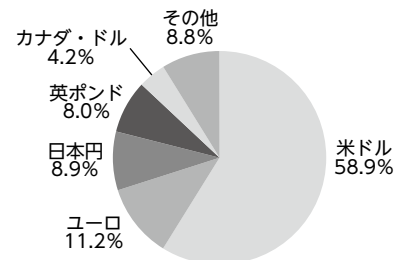
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2014年11月28日現在のものです。本データは、ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズからの情報を基に委託会社が作成したものです。

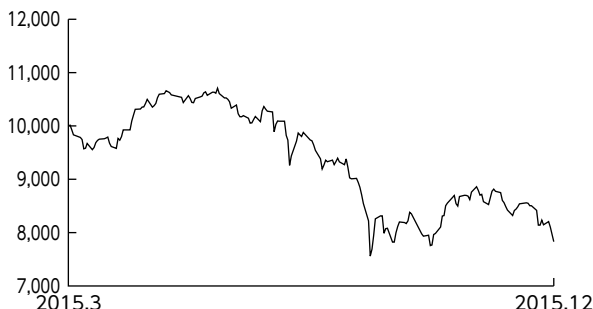
(注2) 1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目については1ページの注記をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

組入上位ファンド（銘柄）の概要

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー エマージング・マーケット・バリュー・ファンド

基準価額の推移（2015年3月2日～2015年12月10日）



(注) 当該ファンドの当初組入れ時（2015年3月2日）を10,000として指数化しております。

○上位10銘柄

銘柄名	国名	業種名	組入比率
1 ブラジル石油公社	ブラジル	エネルギー	2.6%
2 ヴァーレ	ブラジル	素材	2.3%
3 中国建設銀行	中国	金融	2.2%
4 中国工商银行	中国	金融	2.2%
5 中国銀行	中国	金融	2.0%
6 ガスプロム	ロシア	エネルギー	1.9%
7 リライアンス・インダストリーズ	インド	エネルギー	1.7%
8 現代自動車	韓国	一般消費財・サービス	1.4%
9 スタンダード・バンク・グループ	南アフリカ	金融	1.3%
10 新韓金融グループ	韓国	金融	1.2%
組入銘柄数		1,949銘柄	

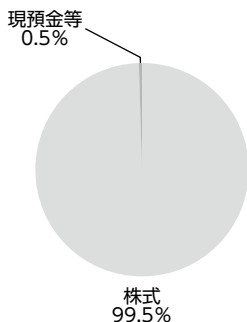
(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

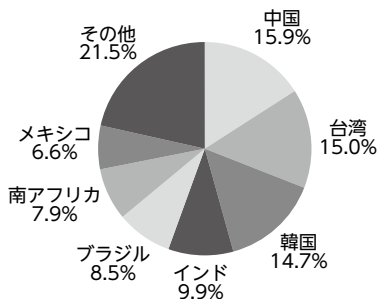
○1万口当たりの費用明細

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー エマージング・マーケット・バリュー・ファンドのAnnual Reportには、1万口当たりの費用の明細が開示がされていないため、記載できません。

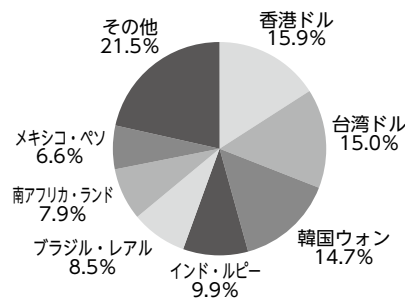
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2014年11月28日現在のものです。本データは、ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズからの情報を基に委託会社で作成したものです。

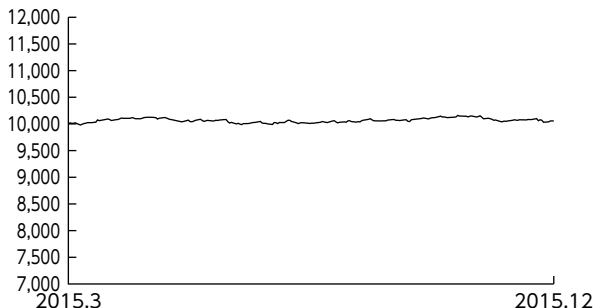
(注2) 1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目については1ページの注記をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

組入上位ファンド (銘柄) の概要

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド

基準価額の推移 (2015年3月2日～2015年12月10日)



(注) 当該ファンドの当初組入れ時 (2015年3月2日) を10,000として指数化しております。

○上位10銘柄

銘柄名	種別	発行通貨	クーポン	償還日	保有比率
1 英国債	国債	英ポンド	1.250%	2018/07/22	7.9%
2 英国債	国債	英ポンド	1.750%	2019/07/22	4.0%
3 ANZ銀行グループ	社債	米ドル	2.250%	2019/06/13	2.7%
4 ノルディア・バンク	社債	米ドル	2.375%	2019/04/04	2.6%
5 ファイザー	社債	米ドル	2.100%	2019/05/15	2.5%
6 スウェーデン輸出信用銀行	政府機関債	米ドル	1.875%	2019/06/17	2.4%
7 フィンランド地方金融公社	政府機関債	米ドル	1.750%	2019/05/21	2.1%
8 アップル	社債	米ドル	2.100%	2019/05/06	2.1%
9 シンガポール国債	国債	シンガポール・ドル	2.500%	2019/06/01	2.0%
10 トロント・ドミニオン銀行	社債	米ドル	2.125%	2019/07/02	2.0%
組入銘柄数				110銘柄	

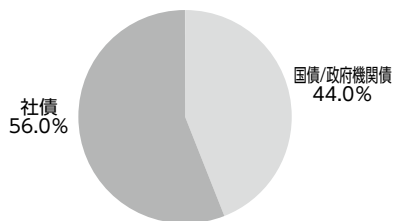
(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

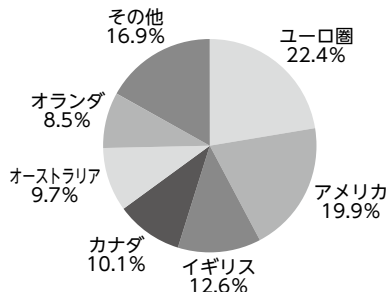
○1万口当たりの費用明細

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンドのAnnual Reportには、1万口当たりの費用の明細が開示がされていないため、記載できません。

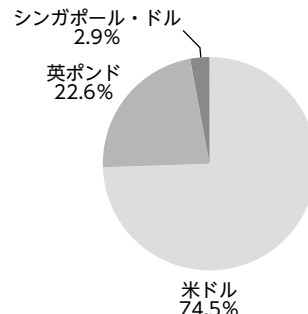
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2014年11月28日現在のものです。本データは、ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズからの情報を基に委託会社が作成したものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目については1ページの注記をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

<ご参考>

■指定投資信託証券の運用状況

(注1) 指定投資信託証券の運用状況データは2015年11月30日現在のものです。本データは、ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズからの情報を基に委託会社が作成したものです。

(注2) 各項目の比率は、指定投資信託証券の純資産に対する保有比率です。また、各項目の比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド

○組入上位5銘柄

	銘柄名	国・地域名	業種名	純資産比
1	アップル	米国	情報技術	1.7%
2	エクソンモービル	米国	エネルギー	0.9%
3	マイクロソフト	米国	情報技術	0.9%
4	アルファベット	米国	情報技術	0.7%
5	A T & T	米国	電気通信サービス	0.6%
組入銘柄数			6,069銘柄	

(注) 組入れファンドの純資産額に対する保有比です。以下、本ページにおいて同じ。

○国・地域別構成比

国・地域名	純資産比
米国	56.6%
日本	10.0%
英国	7.9%
フランス	3.4%
カナダ	3.3%
その他地域	18.5%
現預金・その他	0.3%
合計	100.0%

(注) 国・地域は当該銘柄のリスク所在国を示しています。以下、本ページにおいて同じ。

(注) 組入れファンドの純資産額に対する保有比です。以下、本ページにおいて同じ。

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー エマージング・マーケット・バリュー・ファンド

○組入上位5銘柄

	銘柄名	国・地域名	業種名	純資産比
1	中国建設銀行	中国	金融	2.8%
2	中国工商銀行	中国	金融	2.3%
3	リライアンス・インダストリーズ	インド	エネルギー	1.8%
4	ブラジル石油公社	ブラジル	エネルギー	1.7%
5	現代自動車	韓国	一般消費財・サービス	1.6%
組入銘柄数			1,894銘柄	

○国・地域別構成比

国・地域名	純資産比
韓国	15.3%
台湾	15.1%
中国	14.6%
インド	13.2%
南アフリカ	7.9%
その他地域	33.1%
現預金・その他	0.9%
合計	100.0%

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド

○利回り・特性値

最終利回り	1.78%
直接利回り	1.72%
平均残存期間	3.83年
デュレーション	3.65年
平均格付	AA

(注) 平均格付とは、基準日時点での保有債券に係るS & P社の付与する信用格付を加重平均したものであり、組入れファンドに係る信用格付ではありません。

○銘柄数

銘柄数	99
-----	----

○債券種別構成比

債券種別	構成比
国債/政府保証債	39.6%
社債	60.4%
その他	0.0%

(注) 保有債券に対する構成比です。

○格付別構成比 (月中平均)

格付	構成比
AAA	34.7%
AA	62.7%
その他	2.6%

(注) 保有債券に対する構成比です。

○発行国別構成比 (月中平均)

国・地域名	純資産比
米国	27.9%
ユーロ圏	17.5%
英国	13.7%
オーストラリア	10.1%
カナダ	7.4%
日本	5.5%
その他地域	18.0%
現預金・その他	0.0%
合計	100.0%